

要請番号 (JL51226A16)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガーナ	H106 保健師	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2026/3・2027/1・2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

ガーナ保健サービス マンポン市保健局

3) 任地 (アシャンティ州マンポン市) JICA事務所の所在地 (アクラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約7.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はガーナ第二の都市クマシから約2時間に位置する保健局で、地域全体の公衆衛生、栄養、感染症対策、健康促進、保健統計を行っている。隊員が所属する公衆衛生部門は地域の母子保健(妊婦健診・乳幼児健診等)に関する活動の調整、モニタリング、助言、各保健施設から提出される報告書からの情報収集やデータ集計等を実施している。ガーナでは2018年からJICAの技術協力プロジェクト「母子手帳を通じた母子継続ケア改善プロジェクト」が実施され、「母子健康手帳(母子手帳)」が全国的に導入されている。JICA海外協力隊員の派遣実績はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ガーナではすべての妊婦が妊婦健診を受診することとなっているが、妊娠第1期の健診受診率は63%に留まっている(2022年)。任地においても、妊娠中のマラリア、その他の感染対策、栄養アドバイス等が行き届いていない状況があり、妊婦健診の重要性を啓発し、妊娠初期からの受診を促す必要がある。さらに、限られた人員で実施する乳幼児健診での栄養カウンセリング、子どもの成長記録の正しい記入と見方の説明にも課題があるが、保健スタッフへの研修機会は十分ではない。そのため、隊員には地域住民に対する妊婦健診受診の促進や、妊婦・乳幼児健診の現場での工夫・助言が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の助産師、保健師や保健施設スタッフとともに以下の活動を行う。

- 地域保健施設、コミュニティ、家庭などを巡回し、妊婦健診受診を促す啓発活動を支援する。
 - 妊婦健診等で助産師とともに活動し、妊婦に対して妊娠中の過ごし方やリスク(感染対策・貧血予防等)について啓発する。
 - 妊婦健診、乳幼児健診に参加し、栄養カウンセリングの工夫・成長記録の記入や見方についての助言を行う。
 - 可能な範囲で両親を対象とした産前クラスの実施を支援する。
- ※JICAプロジェクトで作成した、英語および現地語のビデオ教材等の活用が可能。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

配属先事務所にある事務機器、PC、プリンター、体重計、血圧計等基礎的な医療器材

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

局長(男性、50代)、保健師、栄養士

感染症対策担当、薬剤師、保健統計担当など13名
活動対象者:妊婦(約4,800人)、乳幼児等(約24,000人)
病院数2、ヘルスセンター数7
地域保健施設2

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (保健師が必須)

[学歴]: (大卒) 備考: 同僚と同様の学歴が求められる

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 経験に基づいた支援が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (サバナ気候) 気温: (25~35°C位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (不安定)

【特記事項】

不定期な停電・断水がある。停電は数時間程度で復旧することが多いが、断水は数日間以上に及ぶこともあり。生活使用言語は主にチュイ語、赴任後に現地語訓練を実施する。ガーナ政府との取極めにより、身体への侵襲行為は実施しない。

【類似職種】

- ・栄養士
- ・助産師

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。